

令和２年度 十勝地区の研究活動

研修副部長 士幌町立士幌小学校
校長 佐藤 育子

1. はじめに

十勝小・中校長会は、帯広市を除く十勝管内16町2村の公立小中学校に所属する94名の会員で組織されている。

毎年8月に開催される教育研究大会では、研究主題に基づき、学校経営の最高責任者としての経営理念や指導性を明確にし、十勝の地域性を生かした学校経営の在り方について研究を深めているが、今年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、残念ながら、研究大会は中止とした。そのため、予定していた今年度の研究内容については、研修部で教育情報紙を作成し、会員に情報提供する活動を行うこととした。

2. 研究計画

(1) 研究の方針

- ①教育に係わる諸動向を的確に把握し、研究活動を通して会員の資質向上と教育諸課題の究明・解決に努める。
- ②町村、方面における研究の推進を図るため、教育情報の提供など、十勝教育の充実・発展に資する取組に努める。
- ③各種研究大会への積極的な参加促進に努める。

(2) 研究主題

ふるさとを愛し、ともに新たな時代を切り拓く子どもを育む小・中学校教育の推進

(3) 研究領域と研究課題

分科会	研究領域	研究課題及び研究内容	
1	組織・運営	研究課題	今日的な教育課題に適切に対応する組織運営と校長の在り方
		研究内容	○ともに生きる社会の実現に向けた特別支援教育の推進 ①子どもの自立や社会参加に向けた特別支援教育の推進体制 ②教職員の専門性や実践的指導力を高める研修の充実
2	教育課程	研究課題	新たな時代に求められる資質や能力を育む教育課程の編成・改善と校長の在り方
		研究内容	○確かな学力を育むカリキュラム・マネジメントの推進 ①「主体的・対話的で深い学び」の実現と3観点による学習評価の充実 ②学習の基盤や現代的な諸課題に対応して求められる資質・能力の育成

3	教育課題・ 危機管理	研究課題	様々な危機に適切に対応する安全・安心な学校づくり と校長の在り方
		研究内容	○命を守る安全教育・防災教育の推進 ①自ら判断し行動できる子どもを育てる安全教育・防 災教育の推進 ②家庭や地域社会との連携・協働を図った組織的・計 画的な防災教育の推進

3. 研究の概要・研究活動等

(1) 情報紙等を通じた教育情報の提供

NO	研究領域	掲 載 内 容
1	教育課程	「指導と評価の一体化」を図る学習評価の実現に向けて
2	教育課題・ 危機管理	命を守る防災教育・安全教育の推進と校長の在り方 「生きる力」を育てる防災教育の充実 ～安全で安心な信頼される学校づくり～ ※本号は、第63回北海道小学校長会教育研究「オホーツク・北見 大会」の第9分科会「学校安全」で発表予定であった内容をダイ ジェストにまとめたものである。 ※別紙資料として、「コロナ禍における自然災害 校長が理解して おくこと（避難所運営）」を作成し、情報提供した。
3	組織・運営	ともに生きる社会の実現に向けた特別支援教育の推進体制（予定）

(2) 十勝管内小・中学校「研究主題・研究会一覧」の発行

(3) 全連小各種委員会調査への協力

(4) 各種研究大会への参加促進

※今年度は中止

(5) 第63回道小教育研究大会オホーツク・北見大会 第9分科会「学校安全」の提言

※本大会の中止に伴い、紙面（研究紀要及び教育情報紙）発表

4. おわりに

本年度は、第18次教育研究3か年計画の初年度であったが、研究大会を開催することができず、十分な研究成果をあげることができなかった。

また、新型コロナウイルス感染防止に係る様々な取組についても、十分な情報共有と研修を行う機会をもつことができない状況にある。

しかし、「子どもの成長の歴史に責任を負う」という本校長会の実践指標の実現に向けて、歩みを止めることはできない。

新型コロナウイルス感染防止という新たな課題を解決する過程を通して、新たな視点で学校経営を見つめ直し、管理職としての職能の向上と各学校の学校力の向上に資する研究活動の充実に努めていきたい。